第５学年　総合的な学習の時間　学習構想案

日　時　令和７年７月１５日（火）第５校時
場　所　５年１組教室
指導者　教諭　豊永　忠臣

１　単元構想

単元名	もしもの時に備えよう　～わが家の防災ブックを作ろう②～
単元終了時の児童の姿（単元のゴールの姿・期待される姿）	
防災ブックを完成し、防災に備えて今後の生活を考えたり、家族と話し合ったり、周りに発信したりすることができる児童	
単元を通した学習課題	本単元で働かせる見方・考え方
学習したことを生かして、防災ブックを作ろう。	学習したことをもとに、防災のために必要なことを考え、自分たちの生活に生かしたり、周りに発信したりできること。

２　本時の学習

（１）目標　　これまでの学習の振り返りや、５年生で学習することを知る活動を通して、わが家の防災ブックにどんな内容が必要かを考えることができる。

（２）展開

過程	時間	学習活動 （◇予想される児童の発言）	指導上の留意事項 （学習活動の目的・意図、内容、方法等）
導入	15分	１　課題をつかむ。 ①令和２年７月豪雨直後の動画や写真を提示するとともに、４年生での学習を振り返る。 ②理科で学習した「台風と防災」や他教科で学習したことについて振り返る。 ③２学期に学ぶ社会科の「自然災害から人々を守る」学習について知る。 **【学習課題】** **学習した内容などから、「わが家の防災ブック」に入れる内容を考えよう。**	○令和２年７月豪雨について共通理解するとともに４年生の総合的な学習の時間で学んだことも思い出させる。 ○理科の学習を思い出させるとともに、台風への備えについてまとめたことを思い出させる。 ○授業参観時に学んだことを思い出させる。 ○これから社会科で学ぶことを紹介する。 ○色々な教科で学習したことを、何かにまとめることができないかを考え、防災ブックにまとめることを引き出したい。 ○それぞれの様子を動画や画像を電子黒板で紹介する。
展開	22分	２　課題の解決に向けて活動する。 ①自分の家の災害リスクについて、確認する。 **【めあて】自分の家の状況を考えて、防災ブックに入れる内容を考えよう。** ②防災ブックに何が必要か個人で考える。 **（共通実践事項１）** ③友達と意見を交流する。 **（共通実践事項２）** ④全体に広げる。 **【期待される学びの姿】** 交流活動を通して、防災ブックに必要だと思ったことを深めることができる。	○災害リスクは、人によって違いがあることを確かめる。 ○災害が起きた時に自分の家に必要なことを考える。 ○災害の種類や避難の仕方の違いなどで、必要なものが違うことに気付かせる。 ○児童同士交流することで、共通点や相違点が見付けられるようにする。 **【具体の評価規準】思** ○防災について関心をもち、防災ブックに何が必要かを考えている。(方法：発言・ワークシート) **【到達していない児童への手立て】** ○避難場所や防災バッグなどこれまでの学習の内容を思い出させる。 **【まとめ】防災ブックに入れる内容は、共通する内容と違う内容がある。家族と話し合ったり、行政の役割について知ることも大切である。**
終末	８分	３　学習を振り返る。 ①今日の振り返りをする。　**（共通実践事項３）** ②次時からは、学習したことを防災ブックにまとめていくことを知る。	○振り返りの視点②④ ○防災ブックに入れる内容について考えを深められた友達の意見についてや今後の生活で生かすことができることについて振り返る。

３　指導に当たっての留意点

【視点１】「状況を的確に捉え、判断し、主体的に行動する力を身に付ける授業の工夫」

手立て１：単元配列票を活用し、各教科横断的な学びになる工夫

○それぞれの教科等で学習した内容をもとに防災ブックを作成する。